

DS3XM-12 カード上での DS3、STS1/DS3 および VT1.5 回線のプロビジョニング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トポロジ](#)

[DS3XM-12 カードおよび接続外観](#)

[特定のカードおよびポート情報](#)

[設定およびデータフロー](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ONS 15454 の DS3XM-12 カードに DS3、STS1/DS3 および VT1.5 回線をプロビジョニングする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454
- DS3XM-12 カード

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco ONS 15454 のすべてのバージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

トポロジ

この資料は 2 ONS 15454s とラボ の セットアップを ように [図 1](#) 示します使用します。それらは Node 91 と および ノード 90 に 名前を つけられます。

図 1：トポロジ

このリストはセットアップを詳述します：

- ノード 90 の 2 枚のカードはコンフィギュレーションプロセスで使用されます。1 つはスロット 12 の OC-3 カードです ([図](#) の 矢印 A を [2](#)) 参照すれば、他はスロット 5 の DS3XM-12 カードです ([図](#) の 矢印 B を [2](#)) 参照して下さい。 [図 2 — ノード 90 の Shelf ビュー](#)
- ノード 91 の 2 枚のカードはコンフィギュレーションプロセスで使用されます。それらはスロット 6 の OC-3 カードです ([図](#) の 矢印 A および slot1 の DS-3 カードを [3](#)) 参照して下さい ([図](#) の 矢印 B を [3](#)) 参照して下さい。 [図 3 — ノード 91 の Shelf ビュー](#)

DS3XM-12 カードおよび接続外観

DS3XM-12 カードのポートの 3 つのカラムが ように [図 4](#) 示しますあります。最初のカラムはシエルフの後部の電気 DS3 ポートを表す 12 ~ 1 です。2 番目のカラム (13 および下部のの上の 35) は奇数ポートです。これらはその行の VT 相互接続ポートです (1 - 13 - 14、2 - 25 - 26、等)。 (14 および下部のの上の 36) 第 3 カラムは STS1 で組み込まれる DS3 のための相互接続ポイントです。

図 4

特定のカードおよびポート情報

このリストは DS3XM-12 およびポートについての特定の情報を提供します：

1. DS3 ポートへの STS 相互接続は VT1.5s の STS1 です。
2. STS ポートへの STS 相互接続は DS3 との STS1 です。
3. DS3 接続はポート 1 ~ 12 にあります。
4. STS 接続は 13 と 36 間の偶数ポートです。
5. DS3 ポートを使用する時、それが置かれた In Service (IS) である時 [ポートが 5](#)) 無効であることを隣接した 2 つのポート ([参照して下さい](#))。
6. STS ポートを使用するとき、隣接した DS3 ポートはそれが置かれた In Service (IS) のときディセーブルにされます ([ポートを 14](#)) [参照して下さい](#))。
7. DS3 ポートが同じ番号を付けられたポートに (あります) 行く有効になる DS3 の VT に相互接続します。たとえば、ポート 5 は (あります) 有効になります従ってその DS3 の VT への相互接続はポート 5.に行きます。
8. 組み込み DS3 との STS の VT への相互接続はイネーブルになった (あります) STS ポートに隣接して中間ポートに行きます。たとえば、ポート 14 は (あります) 有効になります従って DS3 の VT への相互接続はポート 13.に行きます。

設定およびデータフロー

ノード 90 およびノード 91 は OC-3 カードによって物理的に接続されます (ノード 90 および OC-3 カードの 12) スロット (ノード 91 の 6) スロット。

3つの回線は設定で設定されます:

1. 矢印 A によって指されるノード 90 からの双方向回線、スロット 5 (s5)、ポート 5 (p5)、STS-1 (S1)、ノード 90 への VT1.1 (V1-1)、スロット 5 (s5)、ポート 13 (p13)、STS-1 (S1)、VT1.1 (V1-1) [図 5。](#)
2. 矢印 B によって指されるノード 91 からの双方向回線、slot1 (s1)、ポート 1 (p1)、ノード 91 への STS-1 (S1)、スロット 6 (s6)、ポート 1 (p1)、STS-1 (S1) [図 5。](#)
3. 矢印 C によって指されるノード 90 からの双方向回線、スロット 12 (s12)、ポート 1 (p1)、ノード 90 への STS-1 (S1)、スロット 5 (s5)、ポート 14 (p14)、STS-1 (S1) [図 5。](#)

回線 VT_node .90:: 70 ([図](#) の矢印 A を [5](#)) 参照し、STS_node .90 を巡回して下さい:: 69 ([図](#) の矢印 C がポート 5 で DS3 に接続されるその STS からの STS ポート 14 および VT1.5 に接続される OC-3 カードからの STS/DS3 を示すのを [5](#)) 参照して下さい。

図 5—設定された回線

これはノード 90 からのノード 91 へのデータフローです:

1. DS3XM-12 (ノード 90 のポート 5 への DS3 MUX の 5) スロット
2. DS3XM-12 (ノード 90 から DS3XM-12 (ノード 90 ののポート 5 ポート 13 の 5) スロットの 5) スロット
3. DS3XM-12 (ノード 90 から DS3XM-12 (ノード 90 ののポート 13 ポート 14 の 5) スロットの 5) スロット
4. DS3XM-12 (OC3 (ノード 90 へののポート 14 ノード 90 の 5) スロットの 12) スロット
5. OC3 (OC3 (ノード 91 へのノード 90 の 12) スロットの 6) スロット
6. OC3 (DS3 (ノード 91 へのノード 91 の 6) スロットの 1) スロット
7. DS3 (DS3 MUX へのノード 91 の 1) スロット

このシーケンスを反転させるとき、ノード 91 からのノード 90 へのデータフローを表します。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)